

小児科専攻医プログラムは3年間（36か月間）と定められています。本プログラムにおける研修施設群と、年次毎の研修モデルは下表のとおりです。地域医療研修は16の専門研修連携施設の中で経験するようにプログラムされています。

	研修基幹施設	専門研修連携施設	専門研修連携施設	専門研修連携施設	専門研修連携施設	専門研修連携施設
専攻医 イ	1,2,4,6	3			5	
専攻医 ロ	1,2,4,6	5			3	
専攻医 ハ	2,3,5,6	1			4	
専攻医 ニ	2,3,5,6	4			1	
専攻医 ホ	1,2,4,5		3			6
専攻医 ヘ	2,3,5,6		1			4
研修期間	3～6か月	3～6か月	3～6か月	3～6か月	3～6か月	3～6か月
施設での研修内容	専門診療グループを3～6か月ずつ研修	心身医学、思春期医学等の習得	心身医学、思春期医学等の習得		地域総合小児医療を学ぶ	地域総合小児医療を学ぶ

※1から6はローテーション順の例を示す。

	研修基幹施設(責任施設:岩手医科大学)
専攻医 イ	○
専攻医 ロ	○
専攻医 ハ	○
専攻医 ニ	○
専攻医 ホ	○
専攻医 ヘ	○
各施設での研修期間	3年間
施設での研修内容	初期研修終了後、岩手医科大学附属病院（基幹病院）に所属し、外来、小児病棟（血液・腫瘍、神経、腎、消化器・アレルギー、内分泌、救急疾患）、NICU、循環器センターにおいて、各専門グループに専攻医1～2人が配属となり、3～6か月ごとにローテーションして、3年間の研修を行うシステムとなっている。また高度救命救急センターの日当直を始めは指導医とともに従事し、2～3か月後から一人で日当直ができるようにしている。

#### 地域医療について

当プログラムは岩手医科大学附属病院小児科を基幹施設とし、岩手県全域の小児地域医療に十分配慮したものです。1年間のうち3～6か月は関連病院において「地域小児総合医療」を経験するようにプログラムされています。